

4 月 16 日 : VN 指数は引け際に値を戻す (VN-Index -0.08%)

- VN 指数は昨日の急速な下げが影響し、注意深い雰囲気であった。
- 前場の大半はその雰囲気が蔓延する中で昨日の終値付近をさまよう展開となった。
- 不動産セクターの下落幅が銀行セクターの上昇を圧倒し、指数を徐々に引き下げた。
- ネガティブな思考が広まったため、指数は後場開始後に 1,200 を下回る水準まで引き下げられた。幸いなことにそれが底値買いを誘発し、引けにかけて下落幅を縮小させた。
- SSI 証券の会長が逮捕されたという誤情報が否定、修正されたことも投資家を安心させる一因となった。
- 140 銘柄が上昇、361 銘柄が下落、58 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は依然として 30.3 兆ドンと高かったが、昨日比では-8.2%であった。

VN30 指数は上昇で終える (VN-30 +0.39%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、14 銘柄が上昇し、13 銘柄が下落、3 銘柄が変わらずとなった。
- ACB (+1.12%)、BID (+1.21%)、CTG (+1.79%)、MBB (+2.14%)、SHB (+1.32%)、TCB (+2.48%)といった銀行セクター銘柄の上昇が大きく影響した。
- 一方で、VIC (-1.28%)、VCB (-1.09%)、BCM (-2.11%)、MSN (-1.20%)、VNM (-1.39%)、VRE (-1.33%)などの大型株が主要な下落銘柄であった。

セクター・個別株の動き

- VNE (-3.66%)は監査法人が同社の継続的な企業運営能力を疑問視しており、一時的に 1 日の値幅制限に触れるほどの下落を見せた。

- SHS (+1.58%)は 2024 年の売上と税引前利益がそれぞれ 1.84 兆ドン（前年比 +26%）、1.03 兆ドン（同+51%）を目標としていることを発表した。
- 外国人投資家は 640 億ドンの買い越しであった。SSI (+0.72%)、MWG (0.00%)、VIX (-1.65%)などで広く買い越された一方で、VHM (+0.71%)に売りが集中した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。